

広報 ふじかわ

6月号 昭和47年6月1日発行 No. 142

町のメモ

人口	47. 6. 1. 15,658人
増減	先月より -6人
男	7,739人
女	7,919人
世帯数	3,626世帯
面積	31.09Km ²

富士川町 企画課



おいしい給食 楽しい食事のひとつ

5月26日、幼稚園の給食を開始してから19日目、カメラを肩に取材に出かけました。丁度給食を食べるときです。元気な子どもたちの顔が目に入ってきました。大きな声で「いただきます」……

今日の献立は、クジラのノルウエー風揚げ、野菜のゴマ和え、ソラマメ、牛乳、そしてマーガリン付の食パン、熱量は473カロリー、たんぱく質25.7グラムです。私もさっそく試食してみました。おいしくて、それにおなかがいっぱいになりました。「こんなに沢山子どもが食べられますか」先生に聞いてみたら「おかわりをする子どもたちが多いですよ」とのことでした。これからも、沢山たべてくださいね。6月1日からは私立さくら台幼稚園の給食も開始されます。

写真は町立第一幼稚園さくら組の子どもたちです

町長選挙は 〇を記入する 投票です

告示 6月25日 投票日は7月2日(日)

昭和四十七年七月五日任期満了に伴ない、町長選挙が行なわれます。今回の選挙は、明治三十四年一月、町制を施行し、富士川町誕生から第二十三代目の町長を選ぶ選挙です。

戦後「地方自治法」が制定され二十五年を経過し、地方自治も住民の中に定着するとともに、町がなすべき役割、環境汚染、教育、道路等の問題解決は住民の要求とともに年々増加の一途をたどっています。この問題を解決し、今後四年間の町政を任せる人を選ぶ選挙です。選挙管理委員会は、あなたの投票の判断となる「選挙公報」の発行、「立合演説会」等を開催します。

選挙説明会

て開催します。

立候補できる人

町長選挙に関する選挙日程、運動の注意事項を中心に、住民のみなさんへの説明会を六月十四日(水)午後一時から福祉センターに

〇の記号の書き方は、備えつけの鉛筆で、〇の記号を自書する方法によります。

富士川町長選挙投票用

注意

一、投票しようとする候補者一人についてその氏名の上の〇をつける欄に〇印をつけること。
二、〇のほかは何も書かないこと。

〇をつける欄		候補者氏名
甲野太郎	乙野次郎	

立合演説会

選挙管理委員会が主催する立候補者の立合演説会は、次の日程で行なわれます。

●六月二十九日 第一小体育館 午後七時半

●六月三十日 第二公民館 午後七時半

立候補者の演説は法で一人三分と定められています。

選挙公報

「選挙公報」が今回の町長選挙でも発行されます。みなさんのお手元には六月末日まで届くように配布されます。よく読んで候補者を選ぶ参考として下さい。

入場券の届かない方へ

今度の町長選挙の選挙人名簿に登録されている人は、昭和二十七年七月二日以前に生まれた人で、昭和四十七年三月二十日以前から

夏期資金をご利用下さい
中小企業向けに夏期資金の貸付の申込みを受付けています。
詳細は商工会・県信用保証協会各金融機関へどうぞ。

経営指導員を募集しています

町商工会は、左記により経営指導員を一名募集しています。応募者は履歴書持参のうえ、同事務局(新町)までお出下さい。

大卒または高卒者で、町内在住の男子、年令満三十才以下の者、経験は不問。

新医療機器を整備

— 蒲原病院 —

共立蒲原総合病院では昭和四十六年度において、地域住民に高度な医療技術の提供と、的確なる診断を図るため、国民年金特別融資により、新鋭及び更新医療器械二十一点、診断透視撮影装置、脳室撮影装置、電気メス、耳鼻科ユニット、ニューロエアトーム、ウルトラエース、分留器、无影灯、心電計、高速遠心器、螢光顕微鏡、分娩監視装置、光源装置付食道スコープ、膀胱鏡検査台、テントメーター、眼底カメラ、保育器、血小板計算器、人工呼吸器、人工腎臓、発電機を導入いたしました。その導入した、主な医療器械について説明いたしますと

ひきつづき町内に在住している人です。

入場券は六月末日頃みなさんにお届けしますが、券の届かなかった人は選挙にご連絡下さい。

入場券がなくても選挙人名簿に登録されている人は投票できます。また、入場券を紛失してしまった人も投票所へお出掛け下さい、投票できます。

あなたの投票所は入場券に記入されています

入場券をよく見ますと、あなたの投票所が記入されています。また、最近では交通事故が多いので、事



故には充分気をつけましょう。

投票所

○木島作業所

木島、小山、室野

○町立図書館

相生町、上町、舟山町、坂下、旭町

○中之郷中部作業所

川坂、堺町、新町、新町四十九

宮町、小池、鎌穴

○本通り公会堂

本通一区、本通三、四丁目、東

町一、二丁目、日の出町、幸町

○農協松野支所

桑木穴、南町、富士見町、八幡

町

○北松野公民館

第六投票所

明るく正しい選挙運動を推進する事業として、今年三月十五日に「助言者養成講習会」が役場議場で開かれました。

正しい選挙が行なわれると同時に「主権者のひとりひとりの「政治参加」の運動として発展する「話し合い」を媒体として政治との対話をすすめる活動」また、「生活環境整備や、生活防衛などを解決目標とする住民運動との関係を明確にする」などの運動の展開を期待した学習会です。

当日の出席者、三十数人が地域へ帰っての今後の活動が期待されます。

大代、清水町、大北町、儘下町

不在者投票

やむをえない用事で七月二日に投票所へ行って投票することのできない方は、役場で「不在者投票」をしましょう。

六月二十五日から七月一日までの毎日午前八時三十分から午後五時までいつでも投票できます。

(日曜日、土曜日の午後もできます)

投票時間

投票時間は午前七時から午後六時までです。時間は厳守されます。もし一秒でも遅れると投票できませんので時間は守りましょう。

投票順序は……

入場券を受付係に提出し、点検と到着番号の記入を受け、選挙人名簿対照係で本人かどうか確認を受けて、投票用紙交付係から町長選挙の投票用紙を受けとります。

次に記載台へ行って備えつけの鉛筆で投票用紙に自分の投票しようとする候補者名の上のわく内に○印を記入します。そして投票箱に投票して終了します。

開票所

町立第一小学校体育館が予定されています。

開票結果の速報

開票所、第一小体育館内で速報板に広報するとともに、無線放送で全町に放送します。

選挙会

七月二日開票所(第一小体育館)において開票終了と同時に進行します。

戸別訪問は禁止

戸別訪問とはどういうことでしょうか。説明しますと、候補者または運動員が選挙人の家を訪ねて投票を依頼したり、または投票を得させないように依頼することを戸別訪問といえます。

これは、選挙法上は全く禁止されており立候補した、しないの時期にかかわらず何人も戸別訪問することができません。

誰でもできる選挙運動の例
1、商店等において、その店員等がたまたま運動にきた顧客に投票を依頼したりすること。
2、誰でも、街頭で行きあった人や、バスや電車の中でたまたま出合った人等に投票を依頼すること
3、電話を使用して友人に投票をたのむこともできます。

選挙事務局直通電話
八一〇四九八(書記長)

1、診断透視撮影装置—主に、集団検診用として胃潰瘍、胃癌等各種疾患の診断又観察及び撮影により、的確な診断ができる。

2、分娩監視装置—分娩が安心して行なえる。この装置は分娩の全過程において、胎児の心音拍数及び母体の陣痛強度等を自動的に記録し、これを分析することによって分娩の進行及び胎児の状況を監視する装置。

3、光源装置付食道スコープ—食道内を肉眼で直接観察しながら、写真撮影を行なう装置で食道疾患の検査には欠くことのできない内視鏡。

4、人工腎臓—人工腎臓は透析装置と透析液供給装置からなり動脈から、よごれた血液をコイルを使って透析装置の中に導き、きれいにして体にもどす仕組み。腎機能障害による尿毒症、薬物中毒等の諸疾患に不可欠な装置である。

病院はこの他にも財政の許す限り、最新の医療器械を設備して、町民の皆さまの医療に貢献して行きたいと思えます。

今月の納税

町県民税第一期



— 体育館完成 — 体育教室は6月12日から始めます

中学校敷地内旧公民館の跡地に町立体育館が完成しました。五月二十九日竣工式が行なわれ、体育館竣工記念として、体育協会卓球部、剣道部による模範演技、相生町、北松野婦人チーム対抗の婦人バレーボールのエキシビジョンが行なわれました。

この施設の内容は、室内運動場七百二十六平方メートル、卓球場七十四平方メートル、トレーニング場、管理事務室、バスケット（正式用・練習用）バレーコート、高・低鉄棒などです。

現在、教育委員会では、町社会体育振興総合計画を策定、その目標年次を昭和五十年とする四ヶ年計画を立てています。

基本的方向は「体育、スポーツ活動を町民の日常生活の中に密着させて、積極的に推進することにより、明るく健康で活力に富んだ町民の育成と仲間づくりや地域社会の連帯性を強める」としてあります。

の体育教室が予定されています。現在計画中の教室として、婦人バレー、青年バレー、幼児陸上、母子教室、また柔・剣道教室などがあります。

70歳以上の老 人を対象に 医療費を負担します

多年にわたり社会に尽くしてきた七十以上の老人の医療費の負担を軽減して、老人が必要とする医療の受診を容易にし、健康で安らかな生活ができるよう、老人福祉法を改正して来年一月から自己負担額を国、県、町で負担して、無料にすることになりました。

とくに次の状態にある人を対象に、とし四月から国の制度が発足するまでの間、保険診療の自己負担額の二分の一を助成することとしました。

また、これとあわせ、県下の全市町村がこの県助成金に残りの二分の一を助成することになりました。この制度の対象となる老人は、保険診療の自己負担額は全額無料となります。

この状態が継続すると認められる者。
二、所得の状態
老人自身が所得税を課税されておらずしかも老人の配偶者、または扶養義務者の前年の収入が六人世帯で二百五十万円以下の者。
なお、これらの状態の調査は老人またはその家族の申請にもついで、町が状況調査を行ない、対象者の認定を行ない、対象者の交付申請手続きは役場住民課にお問い合わせ下さい。

よろしく植松です

ばくがここに来て、はや二ヶ月が経った。最初のうちは仕事の要領がわからず、まごついたが、一週間、二週間と経つにつれて仕事の要領もわかり、現在毎日励んでいます。

町立図書館 植松三樹雄



民間サイドで 社会体育振興を

役員は次のとおり（敬称略）

- 会長 尾崎初男
- 副会長 青柳一郎
- 理事長 久保田幸男
- 事務局長 丸山博康
- 陸上競技部長 若月伸元
- 野球部長 斎藤三郎
- 卓球部長 望月 貢
- 剣道部長 鈴木詔式

体育協会は五月六日、午後七時から老人福祉センターで昭和四十七年度総会を開催しました。今年、町立体育館も完成し、体育の普及振興を計る構想を採択しました。

各部が中心となり積極的に教室を開催します。

主な内容は
剣道教室 卓球教室 水泳教室
陸上五種競技会 体育振興懇談会
ソフトボール審判認定会などです。

また恒例の各種大会も行なわれます。

「文淵」記念特集

秋に発行します

文化協会総会が五月十三日福祉センターで行なわれ、四十六年度事業及び決算、四十七年度事業計画、予算を承認しました。

総会では、会則、第五条の「文化の発展振興を図り、生活文化の向上に資するを目的とする」を確認、新年度の決意を新たにしました。

郷研：郷土研究教室の開催
会長 秀村敏朗（敬称略）

- 副会長 天野 寛 望月八代
- 理事長 芦川守正
- 常任理事 影島智子 渡辺 清
- 小野日央 杉山正作
- 谷莊四郎 佐藤ちよ
- 原田良之輔 芦川照江
- 甘露寺雄次郎
- 池谷熊夫 斎藤 博

三詩人の座談会が 魅力「新縄文」四号

文化協会の読書・短歌・俳句・現代詩の文芸四部から「新縄文四号」五十ページが発刊されました。内容は、俳句・短歌・詩・漢詩の教室、随想などが盛りこまれています。なかでも「座談会—小川アンナ詩集—」によしんらいはいをめぐって、の甘露寺雄次郎、富士川淳、池谷九万夫さんの三詩人の話しが魅力を添えています。

商工会館を建設

富士川町商工会通常総会は、五月十九日老人福祉センターにおいて関係者百五十人の出席のもとに開催されました。

前年度の実施事業や決算報告、新年度事業の計画及び予算を可決。特に、新規事業として今までの手作業方式の青色申告記帳指導代行業務を機械化し、コンピュータにより記帳から決算まで行なう計画と商工会館建設が承認された。



俳句会

文協理事 影島智子
吼素人

よき程に風のおしゃべり地虫出づ
菜の花や富士は一日を晴れ曇る
青空と枯野と子等と一教師
野の中で跳ねまわる姿に、作者の満足感も味えて楽しい。

鳥雲に天平板絵丹仄と
花冷えの仏心そる燭あまた
いまひとつ母の燭足せり花の寺
それぞれに古都歩るきにふさわしい。

幸子
たま
智子
八子
裕子

春愁や交通事故の四面記事
あなたかや文珠の智慧を子に給へ
このような願いは誰れにもある
こうした生活の中から生まれる
ものこそ大切にしたい。

さち子
花明り母の封書の分厚しや
分厚い便りそれだけに作者の喜びがあふるる。

戸籍の窓

47・4・20・5・19 (敬称略)

おめでた

日	区名	出生児	保護者	続柄
1日	木島	平野幸司	邦彦	長男
2日	金郡	望月佐和子	公吾	二女
6日	火	望月欽章	秀美	長男
7日	水	天野竜司	邦男	長男
10日	土	望月竜司	邦男	長男
11日	日	青柳 誠	達久	長男
13日	火	藤島敬子	肇	長女
14日	水	望月健一	敏夫	長男
15日	木	斎藤悦英	達雄	長男
18日	日	久保田哲矢	容弘	長男
20日	火	桜井明子	理治	長男
21日	水	高木美菜子	敬一郎	長女
22日	木	関 純子	政義	長女
25日	日	若月由幸	均	二男
27日	火	吉沢明美	健次	長女
7月2日	日	若林美由紀	静子	長女

日	区名	氏名	年齢
13日	火	文協書道例会	
14日	水	自治教室	
15日	木	家庭教育学級	
18日	日	父の日	
20日	火	日脳注射(富士川地区)	
21日	水	夏至	
22日	木	日脳注射(松野地区)	
25日	日	町長選挙告示	
27日	火	日脳注射	
7月2日	日	町長選挙投票日	

よろこび

日	区名	氏名	年齢
14日	水	日脳注射(松野地区)	
21日	水	夏至	
22日	木	日脳注射(松野地区)	
25日	日	町長選挙告示	
27日	火	日脳注射	
7月2日	日	町長選挙投票日	

おしあわせに

区名	氏名	転出先
小山	井上久代	富士市
相生町	明石悦子	蒲原町
上町	大村千代子	富士市
四十九	小島夏子	由比町
宮町	池原明子	浜松市
宮町	斎藤純代	蒲原町
本通一	小永井よし江	富士市
本通三	坪内清子	江間市
東町一	細野純代	横浜市
東町二	海野さかえ	富士市
東町二	田中かほる	富士市
八幡町	稲葉由美	富士市
清水町	山田淑子	清水市
清水町	佐田英子	富士市
清水町	渡辺春代	富士市
清水町	石川貞江	富士市
大北町	吉田みゑ子	清水市

かなしみ

区名	氏名	年齢
木島	佐藤松太郎	七〇
相生町	米倉藤作	七一
宮町	望月増之助	七七
小池	渡辺トメジ	六六
南町	加藤まつゑ	五三
宮町	深沢義定	七四
宮町	小林とき	八二
富士見町	望月シヅノ	七八
宮町	川上つるゑ	八一
宮町	小沢金作	七七
宮町	朝比奈兼吉	八六

水商売

カドミウムや有機水銀等による蓄積毒の恐ろしさは、イタイイタイ病などでご承知のことと思いますが、マンガン毒についてはあまり知られていません。私も多聞に洩れなかったのですが、萩野博士の話を要約すると「昭和十四年冬平塚で十九人(うち三人死亡)の脳炎を疑わせる集団発症事件でした。冬であることと検査の結果伝染病でないことは判ったが原因がはっきりしません。

その後の調査で初発患者が自転車店で、然も家族全員発病(主人は死亡)していることからヒントを得て、その井戸付近を調べてら自転車ランプの廃棄物が埋めてありました。そして井戸水からは基準の三十倍以上の、十PPMのマンガンが検出されました。この結論が出るまでに時間がかかりすぎたため付近一帯に患者が発生したわけです。

この中毒は非常に珍らしく世界的にも有名になっています」と結ばれています。恐ろしいことだと思いましたが、そして私は、当町の過去二年間の水質データを調べましたが、幸い「マンガン」はゼロであることを確認して安心したものです。

水滴子